



斑点米カメムシ類に注意!!



令和7年3月 全農とちぎ 生産資材部 肥料農薬課

近年、斑点米カメムシ類の発生が多くなっており、斑点米の増加による玄米の品質低下（等級落ち）が生じています。

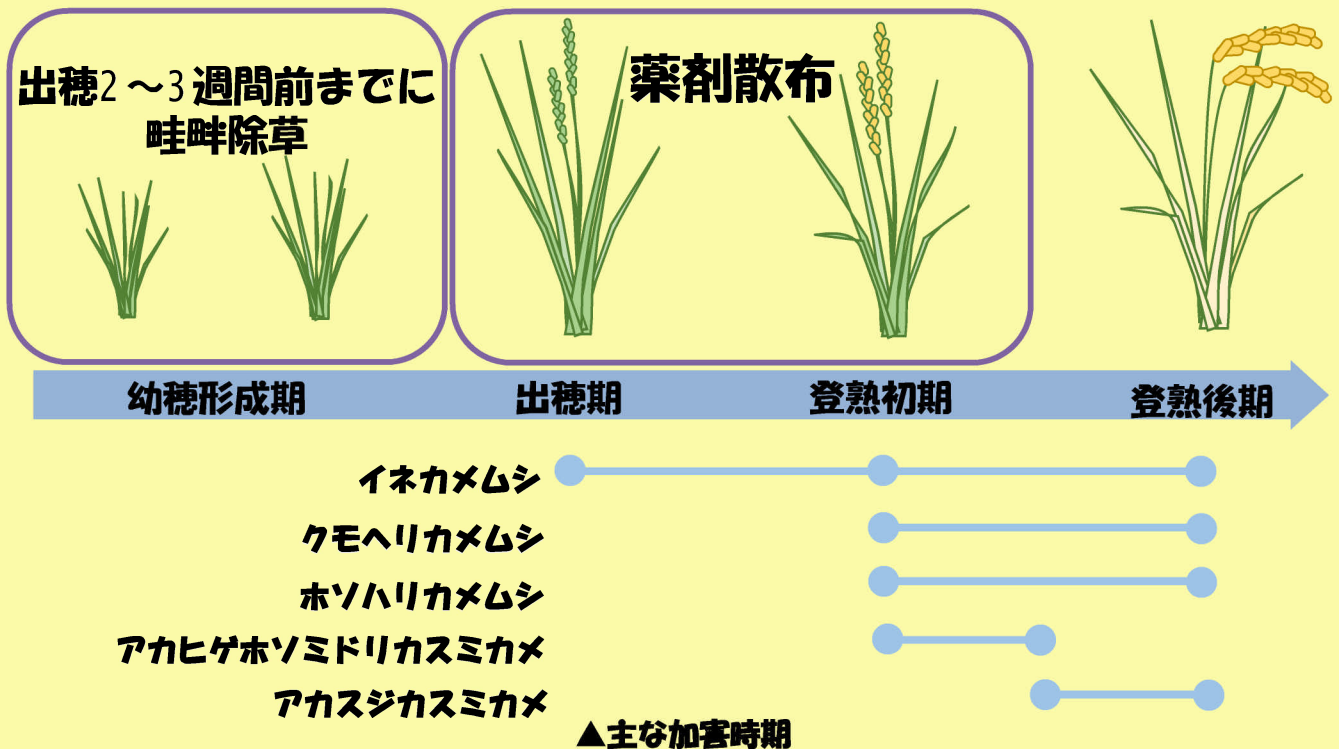
斑点米カメムシ類の防除は出穂前の草刈りと出穂後の薬剤散布が基本です。

しっかり防除し、カメムシによる被害を防ぎましょう！

1 斑点米カメムシ類の種類と加害部位・時期

名称	イネカメムシ	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アカスジカスミカメ
画像					
加害部位	 基部	 側部	 無差別加害 全体	 頂部	 側部
加害時期	登熟全期間 (出穂期：不稔)	登熟全期間	登熟全期間	登熟初期	登熟後期

2 斑点米カメムシ類の防除の考え方



(1) 除草

① 出穂前2回草刈り

出穂2～3週間前と出穂期頃に水田周囲（畦畔等）の草刈り

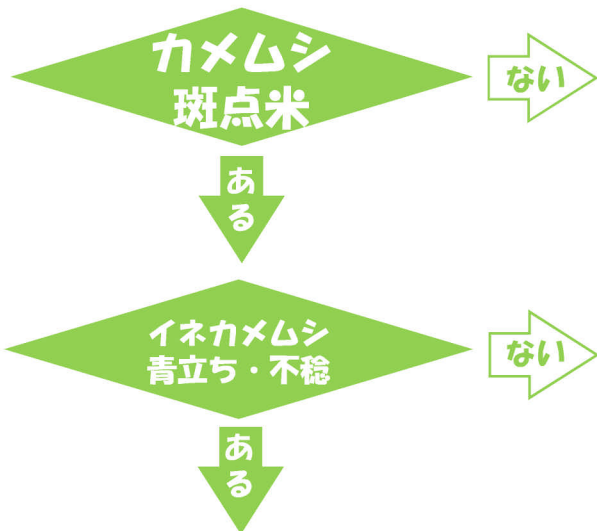
② 水田内の雑草を防除

ヒエ等のイネ科雑草を防除して、出穂させない

(2) 農薬防除

防除の考え方

※大型の斑点米カメムシ類は液剤防除を主体に実施する。
粒剤は、液剤施用時期の1週間前に施用する。



① 基本的防除

出穂1週間後液剤散布

➢ カメムシの発生や前年に斑点米の被害が無くても必ず防除を行う

② 斑点米カメムシ防除

①に合わせてさらに1週間後に液剤散布

➢ カメムシの発生や、前年斑点米の被害がある場合は2回目の防除を行う
以降引き続き発生が見られる場合には、追加防除を行う

③ イネカメムシ防除

①と②に出穂期防除を追加

➢ 前年にイネカメムシの発生や稲の青立ち、不稔が見られた場合は、イネカメムシ対策として出穂期に液剤防除を行う
出穂期に液剤防除が難しい場合は、カメムシ類に有効な粒剤をあらかじめ施用する

3 水稲のカメムシ類に登録のある主な薬剤（令和7年3月7日現在）



スタークル液剤10

希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
1,000倍	収穫7日 前まで	3回以内	ジノテフ ラン	ネオニコ チノイド	4A



キラップフロアフル

希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
1,000～ 2,000倍	収穫14日 前まで	2回以内	エチフ ロール	フェニルピ ラゾール	2B



スタークル豆つぶ

希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
250g/10a	収穫7日 前まで	3回以内	ジノテフ ラン	ネオニコ チノイド	4A



キラップ粒剤

希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
3kg/10a	収穫14日 前まで	2回以内	エチフ ロール	フェニルピ ラゾール	2B



トレボンEW

希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
1,000倍	収穫14日 前まで	3回以内	エトフェン フロックス	ピレス ロイド	3A



エクシードフロアフル

希釈倍数 又は使用量	使用時期	本剤の 使用回数	成分	農薬の 系統	IRAC
2,000倍	収穫7日 前まで	3回以内	スルホキ サフロル	スルホキ シイミン	4C

※IRACコードが同一な薬剤の連用は避ける